

4 歳児ぱんだ組



「どうしよう…」

令和6年 9月

絵の具遊びするため保育室に運ぼうとした時に床に絵の具をこぼしてしまった場面です。



絵の具をこぼしてしまった後「先生、こぼしちゃった」と助けを求めるだけでなく、自分達で「どうしよう…」と考える姿が少しずつ増えてきました。「どうすればいいかな」と保育士も一緒に方法を考えていくと、雑巾を持って後始末をする姿が見られました。自分自身でできる事が少しずつ増えていくよう方法を知らせたり、できるようになった喜びに共感したりしています。